**金銭消費貸借契約書**

　貸主○○（以下「甲」という。）と借主○○（以下「乙」という。）は、甲が乙に対して、金員を貸し付けることについて以下のとおり合意したので、本契約を締結する。

第１条（消費貸借の合意）

　甲は、乙に対して、令和○年○月○日、金○○万円を貸し渡し、乙はこれを借り受けた。

第２条（利息等）

　本件貸付金の利息等は次のとおりとする。

（１）　利率　　　　年○.○％

（２）　支払時期　　元金と一括して支払うものとする

（３）　遅延損害金　年○○％

第３条（弁済期）

１　本件貸付金の弁済期は、令和○年○月○日限りとし、一括して返済するものとする。

２　乙は、甲に対して、前項の期限までに、第１条の金員全額及び第２条の利息等を、甲の指定する口座に振り込み送金して返済するものとする。

３　乙は、第１項の弁済期よりも前に、本貸付金を返済することができる。この場合、乙は、甲に対して、何らの損害賠償義務を負わないものとする。

第４条（期限の利益喪失）

乙が、本契約に定める条項に違反した場合、甲の書面による通知によって、甲に対して負っている債務について期限の利益を喪失し、直ちに甲に対して弁済しなければならない。

第５条（届出義務）

乙は、次に掲げる事由が発生した場合、当該事項を直ちに甲に対し通知しなければならない。

（１）　住所の移転

（２）　勤務先、職業の変更

第６条（公正証書の作成）

１　乙は、本契約締結後○日以内に、本契約と同一の約定による執行認諾文言付公正証書を作成するものとする。

２　前項の公正証書の作成に必要な費用は、乙の負担とする。

第７条（費用負担）

　本契約の締結に要する印紙その他の費用は、乙の負担とする。

第８条（合意管轄）

　本契約に関連する訴訟については、○○地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

本契約の成立を証するため、本契約書を２通作成し、甲乙記名押印の上、各自１通を保有する。

令和○年○月○日

甲　住所

　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

乙　住所

　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印